

国語

答え

- 文や文章を使った問題では、文章中のことばを正かითしてあります。
にた言い方のことばで答えてもかまいません。
- **れい** の答えでは、にた内ようが書けていれば正かいです。
- () は、答えにあってもよいものです。
- < > は、ほかの答え方です。

1 目 物語の読みとり①

2・3 ページ

- 1 ねむっていた
- 2 アフリカ

ポイント

- 1 「テントのかけの箱の中へ、一日中ねむっていた。」とあります。
- 2 「いつもアフリカのゆめを見た。」とあります。

- 3 畑・絵本
- 4 草むら

ポイント

- 3 はじめの文に、「ある日、おほさんが、畑でいつものように絵本を読んでいる」「とあります。
- 4 「とあります。おほさんは、気配を感じてふり返ったのであります。

- 5 音
- 6 ありたち〈あり〉

ポイント

- 5 はじめの文に、「すいせんが、金色のラッパをフル・フル・プーとふいて、よい音が出るかどうかためしていました。」とあります。

- 6 早くラッパをふいてほしいと思っっていることと、「そっちの上がっついていい？」とたずねた後、ありたちがすいせんの葉っぱに上ってきたことから考えます。

- 7 きつつき
- 8 かさ・上

ポイント

- 7 空を見上げているところと、「おほさん。きつつきさん。」とよびかけられていることから、きつつきだとわかります。
- 8 さい後の文に注目しましょう。かさをかたにかついだまま上を見上げていたので、雨で顔がぬれたのです。

さいごのチェック

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

ゆうたと兄さんは、駅でまいごの弟をさがしていました。

- 1 まいごになったのはだれですか。

2 目 せつ明文の読みとり①

4・5 ページ

- 1 目の上・あごの下

※答えのじゅん番は、ちがっても正かいです。

- 2 感じとる

ポイント

- 1 「鼻の横だけでなく、目の上やあごの下にも、ひげがたくさん生えていることがわかります。」「とあります。
- 2 「ひげで、物や、空気の流れを感じとることができます。」「とあります。

- 2 シーグラス

- 2 くだけて・かけら

ポイント

- 2 (1) 「これは、シーグラスです。」「の」「これ」とは、絵にかかれたもののことです。
- (2) 「われたガラスびんなどがくだけて、波にもまれて小さなかけらになったもの。」「と、好く、シーグラスのことです。

- 3 二十四年・東京都
- 4 助けてもらえる

ポイント

- 3 はじめの文をよく読みましょう。

- 4 「そのような人たちが、まわりの人から助けてもらえるように作られました。」「とあります。」「そのような人たちとは、助けがひつようなうでも、見た目からはわからない人たち」のことです。

- 5 たね

- 6 かたい・食べるくく

ポイント

- 5 「大豆は、ダイズという植物のたねです。」「とあります。
- 6 「そのため」の前の文に注目しましょう。理由が書いてあります。

さいごのチェック

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

アゲハチョウのよう虫は、ミカンの葉を食べます。それで、アゲハチョウは、ミカンの木にたまごをうむのです。

- 1 アゲハチョウは、どこにたまごをうみますか。

3日目 物語の読みとり②

6・7 ページ

- 1 二つの細長い岩〈細長い二つの岩〉
- 2 馬みたいだ
- 3 ①

ポイント

- 1 「二つ目の文に、「かすきが見つけたのは、二つの細長い岩だった。」とあります。
- 2 「ゆうたが言う」と「の前の、「馬みたいだ。」が、岩を見たゆうたの「ゆうたです。」乗じゆちいんぞ。「は、岩にまたがったかすきのことです。」
- 3 「」の後に、ゆうたが心の中で思ったことが書いてあります。

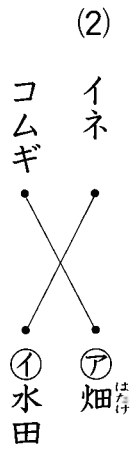
- 4 雨・ふるのか
- 5 もうすぐ雨に
- 6 ①
- 7 ねこ・みどりがめ・うさぎ

※ 答えのじゅん番は、ちがっても正かいです。

4日目 せつ明文の読みとり②

8・9 ページ

- 1 (1) イネ……たねまき 春 しゅうかく 秋
コムギ……たねまき 秋 しゅうかく 夏



- 2 すずしい・実

ポイント

- 1 (1) 前半に、「イネは、ひつう春にたねをまいて」「日が始まる秋に、コムギは、多くは秋にたねをまき」「日が長くなる夏のはじめに、コムギは、多くは秋にたねをまき」「畑が長くなる夏のはじめに、コムギは、多くは秋にたねをまき」とあります。後半に、(2) はじめの「イネは、水田に植えて育てます。」「と、後半はじめの「コムギは、畑で育てます。」「を読みましよう。
- 2 「コムギはもともと、雨があまりふらない、すずしい土地で育つ植物で、畑で育てて、日が長くなる夏のはじめに、コムギは、多くは秋にたねをまき」とあります。

- 3 (1) 青 進め 黄 注意 赤 止まれ

- (2) 色
- ①・②・③

ポイント

- 4 「本当に、ふるのかなあ。」などから、雨がふるのかどうかを考えていたことがわかります。
- 5 「しい口に出してしまいました。」のすへ後に書いてあります。
- 6 「なんて、わかるのさ。」「晴れてるじゃないの。」「ということばかり、みんなが、ぼくのことばかりをしゃべっていることがわかります。

- 7 「ぼくは、こまった。ねこに聞いたとは言えないでしょ。みどりがめやうさぎから、ともね。」とあります。動物たち聞いたと言ってもしんじてもらえないだろうから、「ぼくは理由が言えなくてこまったのです。」

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

「わあ、おいしい!」
ひろしは、クッキーを一口かじるとそう言った。
「おれが作ったんだぞ!」
なおやは、とく意気に、にかつとわらった。

- 1 ひろしは、何と言いましたか。

- 4 れい 見てすぐわかる

※ 「見てすぐわかる」ことが書いてあれば正かいです。

ポイント

- 3 (1) はじめの文の「」の中の「は」は注目に値しています。
(2) 「運動会のリレーでは、組はちまきややバトンの色をかえて、おたがいの目じるしをつけています。」「とあります。
- (3) 「色で区別する」と、意味や、組み分けやなかな分けがあることをわたしたちに知らせてくれます。」「とあります。

- 4 さい後の文に、文章のまとめが書いてあります。

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

学校のチャイムは、じゅ業の始まりや終わりを知らせます。また、柱時計は、一時には一回、二時には二回というように、一時ごとに音で時間を知らせます。
どちらも、音で合図をする道具です。

- 1 学校のチャイムや柱時計は、何で合図をする道具ですか。

5日目 俳句や短歌・詩の読みとり

10・11 ページ

1 俳句 五 短歌 七・七

2 ① 菜の花 ② 甲虫

3 ㊦

ポイント

1 俳句は、五・七・五・七・七の三十一音でできています。

- ① 菜の花や (五音) 月は東に (七音) 日は西に (五音)
- ② ひびかれる (五音) 糸まじすへや (七音) 甲虫 (五音)
- ③ むしのねも (五音) のこじすくな (七音) なりにけり (五音) よなよなかぜの (七音) さむくしなれ (七音)

2 俳句には、きせつを表す「季節」を入れるというきまりがあります。「菜の花」は春の、「甲虫」は夏の季節です。

3 「虫の鳴き声もあまり聞こえなくなって」「びく風が寒くなる」とあります。

4 (1) ぼくら 〈きみたち〉

(2) れい まつかな光

※「赤い光」であることが書いてあれば正かいです。

- (3) ① 夕日 〈太陽〉・ぼくら 〈きみたち〉
 - ② ぼくら 〈きみたち〉・太陽 〈夕日〉
- 5 おしてくる・人間 〈人〉

ポイント

4 (1) 「夕日がせなかをおしてへる」「歩へほへる」から「とあります」。

(2) 「まつかうておしてへる」「は、夕日のまつかな光がせなかに力強く当たる様子をえがいているのです」。

(3) この詩に出てくるのは、夕日(太陽)とぼくらだけです。①は、「ほへる」のついでから「つかい声でびかける」から、夕日のことばだとわかります。②は、「るじりむき太陽へ」ほくらも負けずとなるんだから、ぼくらのことばだとわかります。

5 人間ではない夕日の様子を、人間の動作のように表しています。

さいしやうチェック

次の俳句を読んで、問題に答えましょう。

閑かさや岩にしみ入る蟬の声

松尾芭蕉

1 この俳句に表されているきせつはいつですか。

6日目 せつ明文の読みとり ③

12・13 ページ

1 マンホールのふた・なぜ・円い

2 (1) 一ペんの長さが短い

(2) れい ふたが落ちるのをふせぐため。

※あなに「ふたが落ちるのをふせぐため」であることが書いてあれば正かいです。

ポイント

1 はじめの文に、「〜てしようか。」「〜という問いかけの形で書かれているのが、このせつ明文でせつ明する点です。

2 (1) 「だん落目の」なぜなら「〜という点に注目してしよう。」なぜなら「は、前回の述べたことの理由をせつ明するときに使います。」なぜなら「の後に理由が書いてあります」。

(2) さい後のだん落には、文章のまとめが書かれていることがよくあります。はじめの文の問いかけに対する答えが、ここに書かれています。

3 (1) さるも木から落ちる

(2) ㊦

4 ・昔・言いつたえ

ポイント

3 (1) 「中田さんが、声をかけました。」の後の、「」の中に書いてあります。

(2) さい後の文に、書いてあります。

4 後半の文章に、「ことわざは、昔から人々の間で言いつたえられてきたことばです。」「生活の中で役立つちえや教えなどを、短いことばで表したものです。」「とあります」。

・ちえ・教え・短いことば

※「教え」「ちえ」のじゅん番は、ちがっても正かいです。

さいしやうチェック

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

「ふたにしんじゅ」ということわざを聞いたことがありますか。ふたにしんじゅをやっても、ふたにはしんじゅの大切さがわからず、何の役にも立たないことから、「大切さがわからないものに、よいものをあたえてもむだだ」という意味を表します。「ねこに小ばん」も、これと同じ意味のことわざです。

1 「ふたにしんじゅ」と同じ意味のことわざは何ですか。

7日目 物語の読みとり③

14・15 ページ

- 1 ⑦
- 2 いたくて・寒くて・こわかった
- ※「いたくて」「寒くて」のじゅん番は、ちがっても正かいです。

- 3 **れい** もっとこわかったから
- ※「もっとこわかった」ことにつづけて、理由を表す「から」や「の」などのことばが書いてあれば正かいです。

ポイント

- 1 「表戸を体でぶつとばして走りだした。」「ねまぎのまんま。はだして。」「から、豆太があわてていたことがわかります。
- 2 「豆太は、なきなき走った。いたくて、寒くて、こわかったからなあ。」「とあります。
- 3 さい後の文に、「大すきなじさまの死にじまう方が、もっとこわかったから、なきなきぶもとの医者様へ走った。」「とあります。

- 4 (1) 豆まぎ
- (2) ①

- 5 (だって、) おにが来れば、きつと、お母さんの病気が悪くなるわ。
- 6 悲しそうに身ぶるい

- 4 (1) 女の子は、「あたしも、豆まぎをしたいなあ。」「と言っています。
- (2) 「こつては、思いがけず豆まぎがしたいと言われて、なんだつて?」「とおどろいたのです。

- 5 「だって」「は、理由をせし明するときに使ったことばです。女の子は、おにが来るとお母さんの病気が悪くなると思っていたので、豆まぎをしておにを追い出したかったのです。
- 6 「だつて、悪くなるわ。」「の後、」おにたは、手をだらんと下げて、ふるふるると、悲しそうに身ぶるいして、「こつてありません。」

ポイント

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

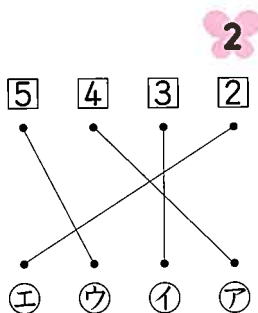
ぼくは、やくそくの時間より、一時間早く公園に行きました。まだだれもない公園は、としていました。

- 1 に入ることばはどれですか。ふゆらり・しいん・びたり

8日目 せつ明文の読みとり④

16・17 ページ

- 1 めだか・身を守って



- ポイント**
- 1 はじめのだん落で、「〜でしようか。」「と問いかけています。
 - 2 それぞれのだん落のはじめの文に注目しましょう。
 - 3 ちらほることばで、ときは、どれをつかまえようかと目うつりし、まよってしまっています。

- 4 ①
- 5 **れい** ほとんど同じだから

※「ほとんど同じ」「ことにつづけて、理由を表す」から「や」の「の」などのことばが書いてあれば正かいです。

- 6 ゆでたまご

ポイント

- 4 じゅんじょを表すことばは、さいしよた、まます、「はじめ」などを、その次に、今度は「次に」などを使います。
- 5 「二つのたまごは、色も、形も、重さも、ほとんど同じです。ですから、見分けることはむずかしいようです。」「とあります。
- 6 ゆでたまごは、「強へ回すと、やがて、立ち上がって回ります。」「とあります。生たまごは、「ゆれながら、ゆっくりに回るだけです。」「強へ回るとはななはなしいです。」「とあります。

せつめいキエツク

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

これから、ぼくが、かくれんぼのやり方をせつ明します。はじめに、みんなでじゃんけんをします。負けた人がおにです。次に、おにが目をつぶって十数えている間に、みんなはかくれます。十数え終わったら、おにはみんなをさがします。

- 1 かくれんぼでは、はじめにみんなを何をしますか。

1 子ぎつね・ぼうし屋さん

2 **れい** 手ぶくろを買いに来た。 ※子ぎつねが「手ぶくろを買いに来た」ことが書いてあれば正かいです。

3 光・面くらって・きつね

4 木の葉

5 ㊦

6 **れい** ちっともおそろしくなく ※「少しもおそろしく

ない」ことが書いてあれば正かいです。

(2) **れい** どうもしなかった

※「何もしなかった」ことが書いてあれば正かいです。

1 ぼうし屋さんが手ぶくろを買おうとお母さんに言われ、子ぎつねはぼうし屋さんの戸をたたいたのです。

2 子ぎつねは、「このおててたちやうどいい手ぶくろくださう。」と言っています。

3 子ぎつねは、光に面くらって、人間の手ではなく、きつねの手の方を戸のすき間にさしこんでしまいました。

ポイント

4 「きつねの手が手ぶくろをくれと言っています。これはきつねの木で買いに来たんだなと思いました。」とあります。

5 ぼうし屋さんがチンチンと鳴らしたものです。子ぎつねが「きつねが来た白どうか」をチンチンと鳴らして、「ほんのお金」かどうかたしかめたのです。

6 (1) さいら後の子ぎつねの「このぼうし、ちっともおそろしくないうや。」とあります。

(2) ぼうし屋さんは、きつねの子だとわかって、ちやんと手ぶくろを売ってくれました。

さいしやうチェック

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

すずは、公園で四つ葉のクローバーをさがしていました。「ここには、四つ葉のクローバーはないのかなあ。」

あきらめて家に帰ろうとしたそのとき、足元で、何か小さいものが動いたのが目にとまりました。それは、小さな小さな小人でした。すずは、四つ葉のクローバーをさし出していました。

1 すずは、何を見つけたのですか。

10 日 目 せつ明文の読みとり ⑤

1 (1) 高速・かいてき

(2) エネルギー

2 (1) 市町村道

(2) 国・かん理

3 (1) 橋・トンネル

(2) ㊦・㊧

1 (1) 二つ目の文に、「高速でかいてきに走るための高速道路が多くなつてきました。」とあります。

(2) 一だん落目に、「高速道路を一キロメートルつくるのに数百億円もかかるといわれるのは、そこに大りょうのエネルギーを使うためです。」とあります。

2 (1) ①のしりょうのきまりを表す数字をへらると、市町村道がいちばん長いことがわかります。

(2) ②のしりょうの金がへらの上でのびのびのびな予算が書いてあります。

ポイント

3 「重い車をささえるためにかたい路面とするひつようがあります。」について、かたい路面にするために何をしているかが書かれています。

4 (1) 三だん落目に、「なるべく直線になるように川にぶつかると橋をかけ、山があるとトンネルをほるようになります。」とあります。

(2) 二だん落目にあるように、道路は「かたい路面」がひつようなので、②のつり橋は高速道路では使えません。

さいしやうチェック

次のしりょうと文章を読んで、問題に答えましょう。

朝ごはん調べ
(3年3組)
パン 18人
ごはん 9人
その他 5人

上のしりょうは、わたしの学級の朝ごはん調べのアンケートです。このけっから、朝、①を食べ、②を食べ、③を食べてくる人が多く、③倍いることがわかりました。

1 [] ① [] ② [] ③ []

① [] ② [] ③ []

テスト 3年生 算数

- 1 **しき** $286+175=461$ ▶ **答え** 461本
- 2 **しき** $195-158=37$ ▶ **答え** 37頭
- 3 **しき** $16 \times 20=320$ ▶ **答え** 320こ
- 4 **しき** $50 \div 7=7$ あまり1
▶ **答え** 1人分は7まいになって、1まいあまる。

- 5 ①1時間40分 ②午後1時45分

ポイント

・問題文をよく読んで、たし算、ひき算、かけ算、わり算のどの計算になるかを考えて、式を書きましょう。

- 1 「新しく植える」は、ふえたあとの数をもとめるので、たし算です。
- 2 「多い数」をもとめるので、ひき算になります。くり下がりに気をつけましょう。
- 3 $(1\text{箱のチョコレートの数}) \times (\text{箱の数}) = (\text{全部のチョコレートの数})$ です。
- 4 1人分の数をもとめるので、わり算です。7のだんの九九を使ってもとめます。
- 5 ①午後2時20分から午後3時までは40分、午後3時から午後4時までは1時間だから、あわせて1時間40分です。
②午後2時20分の35分前の時刻です。

さいしゅうチェック11

- 1 ようすけさんの学年は、35人のクラスが3つあります。ようすけさんの学年の子どもは、全部で何人ですか。
しき _____ ▶ **答え** _____
- 2 バスに乗ってテーマパークに行きます。テーマパークまでの道のりは、8kmです。あと2km500m進むと、テーマパークに着きます。これまでにバスが進んだ道のりは何km何mですか。
しき _____ ▶ **答え** _____
- 3 青いひもが3.7m、白いひもが5.3mあります。ひもをあわせて何mありますか。
しき _____ ▶ **答え** _____

- 6 **しき** $1\text{km}600\text{m}+700\text{m}=2\text{km}300\text{m}$
▶ **答え** 2km300m
- 7 **しき** $23\text{kg}200\text{g}-22\text{kg}700\text{g}=500\text{g}$
▶ **答え** とおるさんが500g重い。
- 8 **しき** $1.2-0.9=0.3$ ▶ **答え** 0.3L
- 9 **しき** $\frac{4}{7}+\frac{1}{7}=\frac{5}{7}$ $(\frac{1}{7}+\frac{4}{7}=\frac{5}{7})$
▶ **答え** $\frac{5}{7}\text{kg}$
- 10 **しき** $5 \times \square = 40$ [$40 \div 5 = 8$]
▶ **答え** 8まい

ポイント

・6 7 同じたんいどうしを計算します。

- 6 $1\text{km}600\text{m}+700\text{m}$
 $=1\text{km}1300\text{m}=2\text{km}300\text{m}$
- 7 $23\text{kg}200\text{g}-22\text{kg}700\text{g}$
 $=22\text{kg}1200\text{g}-22\text{kg}700\text{g}=500\text{g}$
- 8 答えの一の位の0を、書きわすれないようにしましょう。
$$\begin{array}{r} 1.2 \\ -0.9 \\ \hline 0.3 \end{array}$$
- 9 $(\text{使った重さ})+(\text{のこりの重さ})=(\text{はじめにあった小麦この重さ})$ です。
- 10 $(1\text{皿のいちごの数}) \times (\text{皿のまい数}) = (\text{全部の数})$ です。

ポイント

- 5 「みどりはどきどきしながら」とあります。
- 4 「ねこはねながら歌うように言った。」の後の、ねこのことばを読みまじょう。

※「階段」に、緑色と黒のピータイルがなかったことについて、理由を表すことばが書いてあれば正かいです。

ポイント

- 4 しゃくとり虫のぎたいは、「これは、鳥に食べられないために役立っているぎたいです。」とあります。
- 6 回だん落に、筆書の考えがまとめられています。「ぎたい」とは、その虫が生きていくための大切なとくちょうなのです。「とあじります。」
- 7 「中」は、ぎたいがついて、「れい」をあげて、くわしくせつ明している部分です。「終わり」は、このせつ明文のまとめの部分です。

- 8 **れい** 階段には、緑色のピータイルも黒のピータイルも、一まいもはられていなかったから。
- 7 答えのじゅん番は、ちがっても正かいです。
※「階段」に、緑色と黒のピータイルがなかったことについて、理由を表すことばが書いてあれば正かいです。
- 6 きょう走
- 5 ①
- 4 黒く(て) 黒く(て)・クロ
- 3 みどり 緑(色) 黒ねこ 黒
- 2 右・左 ※答えのじゅん番は、ちがっても正かいです。
- 1 黒ねこ 黒いねこ ねこ

- 1 ぎたい
- 2 まぎれて・見つけにくい
- 3 にせて・だます
- 4 ①
- 5 **れい** えものをとるため。
※「えもの(こん虫) へさ」をとる「ことが書いてあれば正かいです。」
- 6 大切なとくちょう(なのです)
- 7 ⑦・⑧

- 1 **しき** $1.9 + 0.5 = 2.4$ ▶ 答え 2.4L
 2 **しき** $1 - \frac{7}{10} = \frac{3}{10}$ ▶ 答え $\frac{3}{10}$ L
 3 **しき** $3.1 - 0.8 = 2.3$ ▶ 答え 2.3kg
 4 **しき** $\frac{3}{8} + \frac{5}{8} = 1$ ▶ 答え 1m
 5 **しき** $10.2 - 9 = 1.2$ ▶ 答え 1.2km

- 6 **しき** $3.6 + 5.4 = 9$ ($5.4 + 3.6 = 9$)
 ▶ 答え 9m
 7 **しき** $\frac{4}{6} + \frac{1}{6} = \frac{5}{6}$ ▶ 答え $\frac{5}{6}$ L
 8 **しき** $9.6 - 3.4 = 6.2$ ▶ 答え 6.2kg
 9 ① **しき** $\frac{5}{9} + \frac{4}{9} = 1$ ▶ 答え 1km
 ② **しき** $\frac{5}{9} - \frac{4}{9} = \frac{1}{9}$ ▶ 答え $\frac{1}{9}$ km

ポイント

- 1 びんに0.5Lのお湯を入れたので、たし算でもとめます。答えは0.1の(19+5=)24こ分、2.4Lになります。
 2 びんの中にのこっている油は $\frac{7}{10}$ Lだから、 $1 - \frac{7}{10} = \frac{10}{10} - \frac{7}{10} = \frac{3}{10}$ (L)
 3 「軽い」は「少ない」と考えられるので、ひき算でもとめます。くり下がりに気をつけて計算しましょう。
 4 切り分けた2本のぼうの長さをあわせた長さが、はじめのぼうの長さです。
 5 全体の道のりから、バスで進んだ道のりをひいてもとめます。9を9.0と考えて計算します。

ポイント

- 6 使った長さとのこった長さを、たします。答えの $\frac{1}{10}$ の位の0は消します。
 7 $\frac{4}{6}$ Lと $\frac{1}{6}$ Lをあわせた分なので、たし算になります。
 8 「1年間でふえた体重」なので、ひき算でもとめます。
 9 ① 駅から学校までの道のりと、学校から公園までの道のりをたします。
 $\frac{5}{9} + \frac{4}{9} = \frac{9}{9} = 1$ (km)
 ② 「ちがい」なので、ひき算です。
 $\frac{4}{9} - \frac{5}{9}$ としないように気をつけましょう。分母はそのまま、分子どうしを計算します。

さいしゅうチェック9

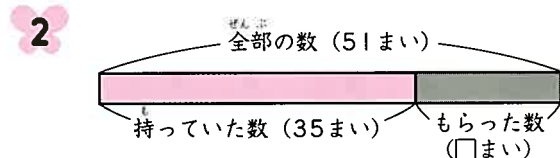
- 1 0.4mの白のリボンと0.7mのピンクのリボンがあります。リボンはあわせて何mありますか。
しき ▶ 答え _____
 2 どう油が5.6Lあり、2.6L使いました。どう油は何Lのこっていますか。
しき ▶ 答え _____
 3 赤いテープが $\frac{5}{11}$ m、青いテープが $\frac{8}{11}$ mあります。赤いテープと青いテープの長さのちがいは何mですか。
しき ▶ 答え _____

- 1 **しき** $\square + 9 = 22$, $22 - 9 = 13$
 ▶ 答え 13人
 2 **しき** $35 + \square = 51$ [$51 - 35 = 16$]
 ▶ 答え 16まい
 3 **しき** $\square - 7 = 13$ [$13 + 7 = 20$]
 ▶ 答え 20羽
 4 **しき** $\square - 15 = 37$ [$37 + 15 = 52$]
 ▶ 答え 52まい
 5 **しき** $\square \times 6 = 30$, $30 \div 6 = 5$
 ▶ 答え 5こ
 6 **しき** $8 \times \square = 48$ [$48 \div 8 = 6$]
 ▶ 答え 6まい
 7 **しき** $\square \div 4 = 7$ [$7 \times 4 = 28$]
 ▶ 答え 28cm
 8 **しき** $\square \div 9 = 5$ [$9 \times 5 = 45$]
 ▶ 答え 45本

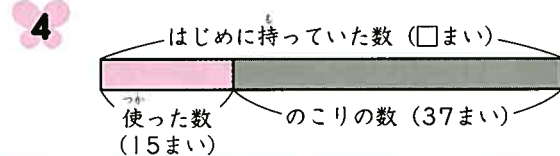
ポイント

・わからない数のかわりに、□を使って式に表します。

- 1 (はじめにいた数)+(あとから来た数)=(全部の数)です。□はひき算を使ってもとめます。



- 3 (はじめにいた数)-(とんでいった数)=(のこりの数)です。□はたし算を使ってもとめます。



さいしゅうチェック10

- 1 りょうたさんはお金を250円持っています。おばあさんに何円かもらったので、全部で400円になりました。りょうたさんは何円もらいましたか。もらったお金を□円としてたし算の式に表し、答えをもとめましょう。
しき ▶ 答え _____
 2 7つのふくろに、全部で35まいのクッキーを同じ数ずつ入れました。1ふくろに何まいのクッキーが入っていますか。1ふくろのクッキーの数を□まいとしてかけ算の式に表し、答えをもとめましょう。
しき ▶ 答え _____

7 日目 長さや重さのたし算とひき算② 34・35 ページ

- 1 **しき** $650\text{m} + 3\text{km}200\text{m} = 3\text{km}850\text{m}$
▶ 答え 3km850m
- 2 **しき** $200\text{g} + 2\text{kg}50\text{g} = 2\text{kg}250\text{g}$
▶ 答え 2kg250g
- 3 **しき** $950\text{m} - 600\text{m} = 350\text{m}$
▶ 答え 350m
- 4 **しき** $4\text{kg}600\text{g} + 5\text{kg} = 9\text{kg}600\text{g}$
▶ 答え 9kg600g
- 5 **しき** $2\text{km}150\text{m} - 1\text{km}800\text{m} = 350\text{m}$
▶ 答え 350m
- 6 **しき** $6\text{kg}100\text{g} - 4\text{kg}350\text{g} = 1\text{kg}750\text{g}$
▶ 答え 1kg750g
- 7 **しき** $3\text{km}700\text{m} + 3\text{km}700\text{m} = 7\text{km}400\text{m}$
▶ 答え 7km400m
- 8 **しき** $1\text{kg}700\text{g} - 350\text{g} = 1\text{kg}350\text{g}$
▶ 答え 1kg350g
- 9 **しき** $1\text{kg}150\text{g} + 950\text{g} = 2\text{kg}100\text{g}$
▶ 答え 2kg100g
- 10 **しき** $2\text{km} - 1\text{km}550\text{m} = 450\text{m}$
▶ 答え ゆうびん局が450m近い。

ポイント

・長さや重さの計算では、同じたんいどうしを計算します。たんいのくり上がりやくり下がりに気をつけましょう。

- 1 家からバスまで道のりと、バスでいから水族館までの道のりをたします。
- 2 (箱の重さ) + (りんごの重さ) = (全体の重さ) でもとめます。
- 3 (おじさんの家までの道のり) - (のこりの道のり) = (歩いた道のり) です。
- 4 全体の重さをもとめるので、たし算で計算します。
- 5 $1\text{km} = 1000\text{m}$ だから、
 $2\text{km}150\text{m} - 1\text{km}800\text{m}$
 $= 1\text{km}1150\text{m} - 1\text{km}800\text{m} = 350\text{m}$

ポイント

- 6 ジャガイモのほうが重いので、(ジャガイモの重さ) - (さつまいもの重さ) になります。 $1\text{kg} = 1000\text{g}$ だから、
 $6\text{kg}100\text{g} - 4\text{kg}350\text{g}$
 $= 5\text{kg}1100\text{g} - 4\text{kg}350\text{g} = 1\text{kg}750\text{g}$
- 7 1しゅうが3km700mだから、2しゅうでは $3\text{km}700\text{m} + 3\text{km}700\text{m}$ です。
 $3\text{km}700\text{m} + 3\text{km}700\text{m}$
 $= 6\text{km}1400\text{m} = 7\text{km}400\text{m}$
- 8 (全体の重さ) - (かごの重さ) = (グレープフルーツの重さ) でもとめます。
- 9 $1\text{kg}150\text{g} + 950\text{g} = 1\text{kg}1100\text{g} = 2\text{kg}100\text{g}$
- 10 ゆうなさんの家からの道のりが、短いほうが近いといえます。

さいしゅうチェック7

- 1 家から駅に向かって歩いています。これまでに700m歩きました。駅まであと1km600m歩きます。家から駅までの道のりは何km何mですか。
しき _____ ▶ 答え _____
- 2 なしが3kg、ぶどうが1kg800gとれました。なしは、ぶどうより何kg何g多くとれましたか。
しき _____ ▶ 答え _____

8 日目 小数や分数のたし算とひき算① 32・33 ページ

- 1 **しき** $0.2 + 0.5 = 0.7$ ▶ 答え 0.7L
- 2 **しき** $2 + 3.7 = 5.7$ ($3.7 + 2 = 5.7$)
▶ 答え 5.7kg
- 3 **しき** $2.8 + 1.5 = 4.3$ ▶ 答え 4.3m
- 4 **しき** $2.5 - 0.3 = 2.2$ ▶ 答え 2.2L
- 5 **しき** $6.2 - 4.9 = 1.3$
▶ 答え そうたさんが1.3m長い。
- 6 **しき** $\frac{1}{5} + \frac{3}{5} = \frac{4}{5}$ ▶ 答え $\frac{4}{5}\text{L}$
- 7 **しき** $\frac{2}{7} + \frac{5}{7} = 1$ ▶ 答え 1kg
- 8 **しき** $\frac{5}{6} - \frac{4}{6} = \frac{1}{6}$ ▶ 答え $\frac{1}{6}\text{m}$
- 9 **しき** $\frac{7}{9} - \frac{2}{9} = \frac{5}{9}$ ▶ 答え $\frac{5}{9}\text{kg}$
- 10 **しき** $1 - \frac{5}{8} = \frac{3}{8}$ ▶ 答え $\frac{3}{8}\text{L}$

ポイント

・小数は位をそろえて計算し、答えの小数点をわすれないように気をつけましょう。

- 1 「あわせて」なので、たし算です。0.1の(2+5)ご分になります。
- 2 使った米とのこっている米を、たしてもとめます。2は、
 2.0
 $+ 3.7$
 5.7
2.0と考えて計算します。
- 3 くり上がりに気をつけて、整数と同じように計算します。答
 2.8
 $+ 1.5$
 4.3
えの小数点は上にそろえます。
- 4 「のこりの数」をもとめるので、ひき算です。0.1が(25-3)ご分です。
- 5 答えは「●が▲m長い。」と書きましょう。くり下がりに気をつけて、整数のひき算と同じように計算します。

ポイント

・分母が同じ分数のたし算やひき算は、分母はそのまま分子どうしを計算します。

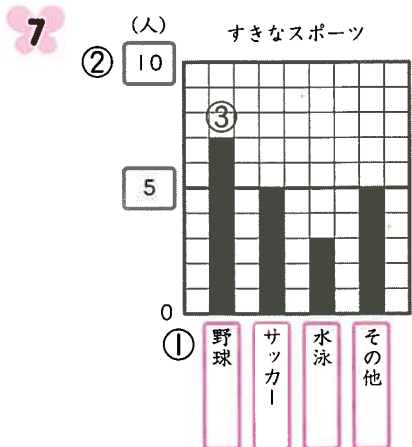
- 6 「あわせて」なので、たし算です。 $\frac{1}{5}$ が(1+3)ご分になります。
- 7 (入れ物の重さ) + (しおの重さ) = (全体の重さ) になります。
 $\frac{2}{7} + \frac{5}{7} = \frac{7}{7} = 1(\text{kg})$
- 8 (全体の長さ) - (使った長さ) = (のこりの長さ) になります。
- 9 「ちがい」をもとめるので、ひき算です。
- 10 $1 = \frac{8}{8}$ だから、 $1 - \frac{5}{8} = \frac{8}{8} - \frac{5}{8} = \frac{3}{8}(\text{L})$

さいしゅうチェック8

- 1 4.3kgの荷物を0.8kgの箱に入れました。全体の重さは何kgになりますか。
しき _____ ▶ 答え _____
- 2 5.7kmの道のりを2.5km進みました。のこりの道のりは何kmですか。
しき _____ ▶ 答え _____
- 3 ジュースが、大きい紙パックに $\frac{5}{10}\text{L}$ 、小さい紙パックに $\frac{2}{10}\text{L}$ 入っています。ジュースはあわせて何Lですか。
しき _____ ▶ 答え _____

- 25分
- 9時間30分
- 75分, 1時間15分
- 午後4時5分
- 午前10時25分

- ①13人 ②35人 ③34人 ④101



ポイント

・ 1 ~ 3 時間をもとめる問題です。長いほうがどれだけ動いたかを考えます。

1 9時50分から10時までは10分, 10時から10時15分までは15分だから, かった時間は(10+15=)25分です。

2 午前9時から正午までは3時間, 正午から午後6時30分までは6時間30分だから, あわせて9時間30分になります。

3 $40分 + 35分 = 75分$ $60分 = 1時間$
 $75分 = 60分 + 15分 = 1時間15分$

・ 4 5 時こくをもとめる問題です。答えには「午前」や「午後」をつけましょう。

4 午後3時45分から15分たつと午後4時, さらに5分たつと午後4時5分です。

5 午前11時の35分前の時こくをもとめます。30分前が午前10時30分です。

ポイント

6 ①犬の行と1組の列が重なるところを読み取ります。

②ねこの行の合計を読み取ります。

③3組の列の合計を読み取ります。

④3年生の人数の合計をもとめます。
 $34 + 33 + 34 = 101$ (人)

7 ①横のじくは, 表の上からじゅんに左から書いていきましょう。

②グラフの1めもりを1人にして, たてのじくに数を書きます。

③それぞれの人数の分だけ, めもりをとってぼうをかきます。

さいしゅうチェック5

1 午後2時40分に家を出て, 午後3時15分に図書館に着きました。家から図書館までかかった時間は何分ですか。

2 家から学校まで歩くと20分かかります。午前7時55分に家を出ると, 学校に着く時こくは午前何時何分ですか。

3 7のグラフを見て答えましょう。

①すきな人がいちばん多いスポーツは何ですか。

②サッカーが好きな人と水泳が好きな人のちがいは何人ですか。

1 **しき** $420m + 380m = 800m$
 ▶ 答え 800m

2 **しき** $1km750m + 600m = 2km350m$
 ▶ 答え 2km350m

3 **しき** $1km850m - 1km200m = 650m$
 ▶ 答え 650m

4 **しき** $2km300m - 400m = 1km900m$
 ▶ 答え 1km900m

5 **しき** $120g + 250g = 370g$
 ▶ 答え 370g

6 **しき** $850g + 1kg200g = 2kg50g$
 ▶ 答え 2kg50g

7 **しき** $24kg970g - 23kg380g = 1kg590g$
 ▶ 答え 1kg590g

8 **しき** $1kg300g - 750g = 550g$
 ▶ 答え みかんが550g重い。

ポイント

・ kmどうし, mどうして計算しましょう。

1 ゆかさんの家から公園までの道のりと, 公園から学校までの道のりをたします。

2 くり上がりに気をつけましょう。
 $1000m = 1km$ だから,
 $1km750m + 600m$
 $= 1km1350m = 2km350m$

3 同じたんいどうしてひき算をします。
 $1km850m - 1km200m = 650m$

4 (全体の道のり) - (のこりの道のり) = (歩いた道のり), $1km = 1000m$ だから,
 $2km300m - 400m$
 $= 1km1300m - 400m = 1km900m$

ポイント

・ kgどうし, gどうして計算しましょう。

5 (かんの重さ) + (さとうの重さ) = (全体の重さ) です。

6 くり上がりに気をつけましょう。
 $1000g = 1kg$ だから,
 $850g + 1kg200g$
 $= 1kg1050g = 2kg50g$

7 「ちがい」をもとめるので, ひき算です。
 $24kg970g - 23kg380g = 1kg590g$

8 「どちらがどれだけ重い」をもとめるので, ひき算です。くり下がりに気をつけましょう。 $1kg = 1000g$ なので,
 $1kg300g - 750g$
 $= 1300g - 750g = 550g$

さいしゅうチェック6

1 家から駅までの道のりは950mです。駅から病院までの道のりは500mです。家から, 駅を通過して病院までの道のりは何km何mですか。

しき ▶ 答え

2 図書館から美じゅつ館までの道のりは1km700m, 図書館からはく物館までの道のりは500mです。道のりのちがいは何km何mですか。

しき ▶ 答え

3 500gの箱の中に1kg500gのみかんを入れると, 全体の重さは何kgになりますか。

しき ▶ 答え

- 1 **しき** $27 \div 3 = 9$ ▶ 答え 9こ
- 2 **しき** $56 \div 7 = 8$ ▶ 答え 8こ
- 3 **しき** $14 \div 2 = 7$ ▶ 答え 7人
- 4 **しき** $55 \div 5 = 11$ ▶ 答え 11ふくろ
- 5 **しき** $24 \div 6 = 4$ ▶ 答え 4倍

- 6 **しき** $20 \div 4 = 5$ ▶ 答え 5倍
- 7 **しき** $68 \div 8 = 8$ あまり4
▶ 答え 1人分は8さつになって、
4さつあまる。
- 8 **しき** $50 \div 9 = 5$ あまり5
▶ 答え 5本できて、5cmあまる。
- 9 **しき** $30 \div 4 = 7$ あまり2 ▶ 答え 7さつ
- 10 **しき** $52 \div 6 = 8$ あまり4, $8 + 1 = 9$
▶ 答え 9回

ポイント

・「1人分の数」や「分けられる数」をもとめる問題は、わり算で答えをもとめます。

1 (全部のいちごの数)÷(人数)=(1人分の数)でもとめるので、式はわり算になります。わり算の答えは、わる数のだんの九九を使ってもとめます。

2 「1人分の数」をもとめるので、わり算です。 $56 \div 7$ は、7のだんの九九を使います。

3 (画用紙のまい数)÷(1人分のまい数)=(分けられる人数)になります。

4 同じ重さ(5kg)ずつ、ふくろに分けるので、わり算でもとめます。わられる数の55は、50と5に分けて計算します。

5 「何倍になるのか」を、わり算でもとめる問題です。何倍かをもとめる式は、(赤いコイの数)÷(白いコイの数)です。

ポイント

6 「何倍になっているか」は、(学校の高さ)÷(家の高さ)でもとめます。

7 答えは、「1人分は●さつになって、▲さつあまる。」と書きます。あまりは、わる数より小さくなることにも注意します。

8 (全体のリボンの長さ)÷(1本の長さ)=(本数)です。

9 あまりの2cmには、4cmの本を立てることができないので、答えは7さつです。

10 あまりの4この荷物(荷物)を運ぶのに、あと1回運ぶ(回)ひつようがあります。答えは、 $8 + 1 = 9$ (回)になります。

さいしゅうチェック3

- 1 チョコレートが36こ、キャラメルが9こあります。チョコレートの数は、キャラメルの数の何倍ですか。
しき _____ ▶ 答え _____
- 2 色紙が42まいあります。5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになって、何まいあまりますか。
しき _____ ▶ 答え _____

- 1 **しき** $1362 - 695 = 667$
▶ 答え 667人
- 2 **しき** $48 \times 4 = 192$ ▶ 答え 192人
- 3 **しき** $35 \div 5 = 7$ ▶ 答え 7倍
- 4 **しき** $470 + 530 = 1000$
▶ 答え 1000本
- 5 **しき** $325 \times 28 = 9100$
▶ 答え 9100円
- 6 **しき** $45 \div 8 = 5$ あまり5
▶ 答え 5まい
- 7 **しき** $125 \times 6 = 750$ ▶ 答え 750cm
- 8 **しき** $1846 + 379 = 2225$
▶ 答え 2225さつ
- 9 **しき** $310 - 187 = 123$
▶ 答え 馬が123頭多い。
- 10 **しき** $20 \div 3 = 6$ あまり2
▶ 答え 6人に分けられて、2まいあまる。

ポイント

・問題文をよく読んで、たし算、ひき算、かけ算、わり算のどの計算になるのかを考えて、式を書きましょう。

1 きのうの来館者数から、おとなの数をひいたのこりが子どもの数です。式はひき算になります。

2 48人の4つ分だから、式はかけ算になります。

3 「何倍になるのか」を、わり算でもとめる問題です。式は、(クッキーの数)÷(ケーキの数)になります。

4 工場で作るジュースの数は、サイダーの数(470本)より530本多いので、たし算でもとめます。

5 (ボール1このねだん)×(買った数)=(代金)でもとめます。

ポイント

6 あまりの5この画びょうでは、ポスターをはることができないので、答えは5まいです。

7 「ある数の何倍かの数」をもとめるので、かけ算です。(短いひもの長さ)×(6倍)=(長いひもの長さ)です。

8 新しい本が「とどいた」は、図書館の本が「ふえた」ことになるので、式はたし算になります。

9 「ちがい」をもとめるので、ひき算です。「どちらが何頭多いですか。」なので、「●が▲頭多い。」と答えます。

10 「分けられる数」をもとめるので、わり算です。あまりの数に気をつけて答えましょう。

さいしゅうチェック4

- 1 かずきさんはおじいさんに850円もらったので、かずきさんが持っているお金は2080円になりました。かずきさんは、はじめに何円持っていましたか。
しき _____ ▶ 答え _____
- 2 88本の花を、8本ずつのたばにしていけます。花たばは何たばできますか。
しき _____ ▶ 答え _____

1日目 たし算とひき算

46・47 ページ

- 1 **しき** $253+284=537$ ▶ 答え 537人
- 2 **しき** $186+47=233$
▶ 答え 233ページ
- 3 **しき** $665+350=1015$
▶ 答え 1015円
- 4 **しき** $798+432=1230$
▶ 答え 1230人
- 5 **しき** $765+1980=2745$
▶ 答え 2745円
- 6 **しき** $342-119=223$ ▶ 答え 223まい
- 7 **しき** $270-213=57$
▶ 答え 赤い花が57本多い。
- 8 **しき** $924-487=437$ ▶ 答え 437人
- 9 **しき** $3108-546=2562$
▶ 答え 2562人
- 10 **しき** $5000-1780=3220$
▶ 答え 3220円

ポイント

問題文をよく読んで、どんな計算になるのかを考えて式を書きます。答えには、「人」や「ページ」などをつけましょう。

- 1 「あわせて」なので、式はたし算になります。答えの「人」を、書きわすれないようにしましょう。
- 2 「ふえたあとの数」をもとめるので、たし算です。くり上がりに気をつけて計算しましょう。
- 3 「多いほうの数」をもとめるので、たし算です。おとなの人数に多かった分の人数をたして、子どもの人数をもとめます。
- 5 (くつ下のねだん)+(シャツのねだん)=(全部の代金)になります。

ポイント

- 6 「のこりの数」をもとめるので、はじめの数から使った数をひきます。くり下がりに気をつけて計算しましょう。
- 7 「ちがい」をもとめるので、ひき算です。ひき算は多いほうから少ないほうをひきます。213-270としないようにしましょう。「どちらが何本多いですか。」と聞かれているので、「●が▲本多い。」と答えます。
- 8 全部の小学生の人数から、女子の人数をひいたのが、男子の人数になります。
- 9 月曜日の人数は日曜日より少ないので、ひき算でもとめます。
- 10 (はらったお金)-(絵の具の代金)=(おつり)になります。

さいしゅうチェック1

- 1 580円のポーチと345円のハンカチを1つずつ買いました。代金は何円になりますか。
しき _____ ▶ 答え _____
- 2 箱に、200このビーズが入っています。かざりを作るのに、128こ使いました。ビーズは何ここのっていますか。
しき _____ ▶ 答え _____

2日目 かけ算

44・45 ページ

- 1 **しき** $32 \times 3 = 96$ ▶ 答え 96人
- 2 **しき** $54 \times 9 = 486$ ▶ 答え 486こ
- 3 **しき** $12 \times 8 = 96$ ▶ 答え 96本
- 4 **しき** $145 \times 6 = 870$ ▶ 答え 870g
- 5 **しき** $975 \times 3 = 2925$
▶ 答え 2925円
- 6 **しき** $20 \times 34 = 680$ ▶ 答え 680まい
- 7 **しき** $96 \times 25 = 2400$ ▶ 答え 2400m
- 8 **しき** $216 \times 17 = 3672$ ▶ 答え 3672円
- 9 **しき** $140 \times 5 \times 4 = 2800$
($140 \times 5 = 700$, $700 \times 4 = 2800$)
▶ 答え 2800円
- 10 **しき** $(45+75) \times 9 = 1080$
($(45 \times 9) + (75 \times 9) = 1080$)
▶ 答え 1080円

ポイント

- 1 (1クラスの人数)×(クラスの数)=(全部の人数)になるので、かけ算です。筆算は、位をそろえて書いて、一の位からじゅんに計算しましょう。
- 2 もとめる数を、54この9つ分と考えると、式は 54×9 になります。
- 3 (1箱のえん筆の数)×(箱の数)=(全部のえん筆の数)になります。
- 4 (かんづめ1この重さ)×(かんづめの数)=(全部の重さ)になるので、かけ算です。
- 5 「ある数の何倍かの数」をもとめるときには、かけ算を使います。絵本のねだんの3倍が、図かんのねだんです。(絵本のねだん)×(何倍の数)=(図かんのねだん)です。

ポイント

- 6 (1人に配る数)×(人数)=(全部の色紙の数)になります。
- 7 1日に1しゅう歩くので、25日間では25しゅう歩いたことになります。1しゅうで96m歩くので、 96×25 でもとめられます。
- 8 (1ふくろのねだん)×(買ったふくろの数)=(代金)です。
- 9 1箱のねだんは、 $140 \times 5 = 700$ (円) 4箱では、 $700 \times 4 = 2800$ (円) これを1つの式に表すと、 $140 \times 5 \times 4$ です。
- 10 あめとガムを買った数が同じなので、あめとガムを1組と考えると、代金は $(45+75) \times 9$ でもとめられます。

さいしゅうチェック2

- 1 赤い色紙が157まいあります。青い色紙の数は、赤い色紙の数の2倍です。青い色紙は何まいありますか。
しき _____ ▶ 答え _____
- 2 1本90円のだんごが3本ずつ入った箱があります。これを6箱買うと、代金は何円になりますか。
しき _____ ▶ 答え _____

算数

答 え

- 〈 〉は、ほかの式の立て方です。
- []は、答えになくてよいものです。

← といねいに引っぱってください。取り外せます。